

令和5年度

新宿区避難所防災訓練レポート

四谷第六小学校避難所運営管理協議会（四谷地域）	1
牛込第一中学校避難所運営管理協議会（笹笥町地域）	2
成城学校避難所運営管理協議会（榎町地域）	4
東戸山小学校避難所運営管理協議会（若松町地域）	5
天神小学校・新宿中学校避難所運営管理協議会（大久保地域）	6
西早稲田中学校避難所運営管理協議会（戸塚地域）	7
落合中学校・落合第四小学校避難所運営管理協議会（落合第一地域）	8
落合第二中学校避難所運営管理協議会（落合第二地域）	9
西新宿中学校避難所運営管理協議会（柏木地域）	10
西新宿小学校避難所運営管理協議会（角筈地域）	11

避難所防災訓練レポート

協議会名	四谷第六小学校避難所運営管理協議会					
訓練日	令和 5年 11月 18日 (土)	9時00分 (発災) ~12時00分				
運営する町会・自治会等	須賀町町会、左門町町会、信濃町町会、南元町町会、大京町町会、内藤町町会					
参加者数	町会・自治会等 一般参加者	64人	民間事業者	人	児童・生徒	人
	PTA	人	学校教職員	1人	防災関係機関等	9人
	その他	5人	区職員	12人	合計	91人
訓練概要	<p>1 避難所開設キットを使った開設訓練 10 時からの開会式後に避難所開設キットの説明を実施、その後に各部に分かれて訓練開始。</p> <p>【訓練内容】</p> <p>① 本部の立ち上げ、② 施設の安全点検、③ 避難者の受付、④ 災害情報収集・伝達、⑤ 飲料水の確保、⑥ 発電機・バーナー訓練、⑦ トイレの準備</p> <p>2 映像鑑賞 (消防署)</p>					
特色・良かった点・成果等	<ul style="list-style-type: none"> ・避難所開設キットを使用した訓練は2回目となり、参加者に開設キットの存在を知っていただくとともに、実際に使ってみることで、発災時に各自がすべきことを認識してもらうことができた。 ・訓練前の避難所運営管理協議会において、役員の中で、開設キットと本部の役割について事前に確認をしたことで、訓練当日、円滑に本部を立ち上げることができた。 					
課題・改善点等	<ul style="list-style-type: none"> ・本部の立ち上げを避難所運営管理協議会の役員が行っている間、他の参加者が動きを把握できずに戸惑う場面があった。 ・部によっては参加者が多く、ついて回るだけの人が発生してしまった。 ・他の部での訓練内容を把握できなかった。 					
その他 ※今後取り組みたいこと・意見等	<ul style="list-style-type: none"> ・避難所運営管理協議会の役員の中で、避難所運営に関する知識を深めていく必要がある。 ・今後も、同様に開設訓練を継続して実施していきたい。 ・発災時の連携のためにも、地域住民同士のつながりを広げていくことが大切となるため、より多くの地域住民が参加できるような訓練内容への見直しを図りたい。 					

「訓練の様子」

画像を右クリックして、「図の変更…」から写真を挿入してください。



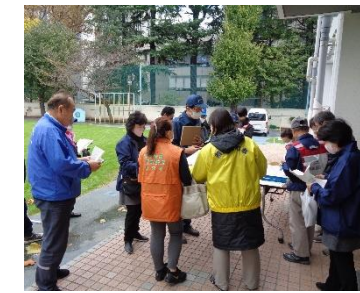
本部の立ち上げ

代表世話人の号令のもと、避難所運営管理協議会の役員を主体として、本部の立ち上げを実施した。



施設の安全点検

被害状況の想定のもと、各部屋が使用可能であるかということについて確認し、本部に報告を行った。



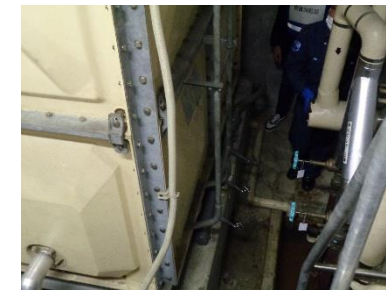
避難者の受付

受付に必要な物品等を準備した後、避難者の受付の手順を確認した。



災害情報収集・伝達

災害情報システムの使用法について説明を受け、地域本部との発災時を想定した情報伝達訓練を行った。



飲料水の確保

受水槽へ蛇口を接続し、給水までの手順を確認した。



発電機・バーナー訓練

アルファ化米の炊き出しを行うための、発電機起動とバーナー一点火の操作手順を確認した。



トイレの準備

開設キットの中の手順書を確認しながら災害用トイレを組み立てた。
(強風のため体育館で実施)



映像鑑賞

消防署に用意いただいた映像を鑑賞した。



避難所防災訓練レポート

協議会名	牛込第一中学校避難所運営管理協議会					
訓練日	令和 5年 10月 7日 (土)	9時 00分～ 11時 30分				
運営する町会・自治会等	矢来東町会、矢来南町会、甲良町町会、市谷山伏町町会、北山伏町町会、南榎町町会					
参加者数	町会・自治会等 一般参加者	37人	民間事業者	0人	児童・生徒	0人
	PTA	0人	学校教職員	4人	防災関係機関等	0人
	その他	1人	区職員	8人	合計	50人
訓練概要	<p>9：00～9：50 第一部（避難所開設訓練）・・・協議会のみ参加 9：00→牛込第一中学校正門に集合。正門の開錠、主事室を開けてまとめられているカギの束を取り出す。→備蓄倉庫のカギを開けて必要な物品を取り出す。 9：20→東校舎昇降口に移動し避難所開設キットを使った訓練。（危機管理課から受付の説明を受け、その後受付カードを使った訓練を実施。） 9：50→避難所開設訓練終了</p> <p>9：50～11：10 第二部（避難所訓練）・・・一般参加 9：50～10：05→一般参加者の受付（協議会が中心になって町会別に受付） 10：05→会長、所長が挨拶をした後、副所長から訓練の概要の説明。 10：10→参加者を二つの班に分け、一つの班は体育館でテント等の設置を行いもう一つの班は校庭でバーナー等の訓練をした。 10：50→結果報告・意見交換（体育館）アンケートの記入 11：00→閉会式。（体育館）備蓄物資の配布。（水、ビスコ、おかゆ） 11：10→訓練終了</p>					
特色・良かった点・成果等	<ul style="list-style-type: none"> 久しぶりの訓練で、一通り流れをつかめたのは良かったと意見を多数受けた。 バーナーが新しくなり使いやすくなって良かったという意見が多かった。 訓練をする中で、課題、改善すべき点が見え良かった。今後の避難所訓練の振り返りの会議で、課題、改善点に対してどのような対応をとるのかを協議したい。 避難所訓練後のアンケートでは訓練に参加して良かった又はどちらかといえば参加してよかったと回答した方が 97%を占めていた為、有意義な避難所訓練になったといえる。 					

課題・改善点等	<ul style="list-style-type: none"> バーナーなどの機器は、機器本体に動作手順を大きい文字で分かりやすく書いてほしいという意見が多数あがったので改善が必要である。 災害はいつ起こるかかわからないので、雨天や夜間、強風時などの悪天候をもっと想定して避難所訓練を行う必要がある。（実際に訓練時は強風のために受付の紙が飛ぶということが起こった。） 避難者の体調をもとに動線を分けたが、動線がわかりづらいという声が上がっていたので改善する必要がある。 若者の出席者がいなかったため若い人が参加をしてもらえるような周知が必要。 参加者が一方的に説明を受けている場面が多かったため、参加者が実際に機器の動作を確認するなど参加者が主体となって体験できるような避難所訓練にする必要がある。 避難所訓練の頻度を増やすべきといった意見を多数受けたため、訓練の開催頻度を見直す必要がある。
その他 ※今後取り組みたいこと・意見等	<ul style="list-style-type: none"> 訓練時に課題が明らかになったので今度の訓練の振り返りの会議の際に課題に対する改善策を見つけていき、次回の避難所訓練では課題を克服したい。（悪天候時の受付場所、避難者の動線の明確化、機器の動作の明確化など。） 今回の避難所訓練では若い人の参加がなかったため、今後若い方の協力を得られる方法を模索したい。 町会ごとの参加人数にばらつきがみられ、参加人数の少なかった町会から不安という声が上がっていたため、参加人数の多かった町会の避難所訓練の周知方法をもとに、より多くの方々が参加していただけるような周知方法を模索したい。

＜訓練の様子＞

画像を右クリックして、「図の変更…」から写真を挿入してください。



牛込第一中学校開錠協議会主導にて牛込第一中学校の開錠を行った。



牛込第一中学校避難所開設訓練協議会主導にて避難所開設の手順を確認した。（場所と手順の確認）を行った。



避難所開設キットを使った開設訓練。危機管理課から避難所開設キットの説明を受け、協議会主導にて避難所開設キットを使った開設訓練を行った。



受付カードを使った訓練

受付カードを用い、避難者の体調、身体的特徴から、その後の動線の案内を行った。



一般参加者の受付

一般参加者の受付を協議会が主体となって行った。町会別の名簿にお名前を記入してもらった。



校庭でバーナーの説明

校庭に分かれた班にバーナーの使い方の説明。バーナーは前回の訓練から新しいものになっており使いやすくなったという声が多数あがっていた。



体育館でテントの説明

体育館に分かれた班にテントの設営方法の説明。



閉会式

訓練の総括を含め、閉会式を行った。



備蓄物資の配布

備蓄物資（水、ビスコ、おかゆ）をお試しとして参加者に配布。

避難所防災訓練レポート

協議会名	成城学校避難所運営管理協議会					
訓練日	令和5年9月24日(日)	午前8時15分～12時00分				
運営する町会・自治会等	柳町町会、原町二丁目町会、原町三丁目町会、牛込ハイマンション自治会					
参加者数	町会・自治会等 一般参加者	36人	民間事業者	2人	児童・生徒	0人
	PTA	0人	学校教職員	2人	防災関係機関等	9人
	その他	0人	区職員	8人	合計	57人
訓練概要	<ol style="list-style-type: none"> 1 防災役員等による避難所開設キット訓練 2 映像視聴 3 初期消火訓練 4 発電機操作訓練 					
特色・良かった点・成果等	<ul style="list-style-type: none"> ・避難所開設キット訓練では、危機管理課職員の説明を聞きながら、防災役員等参加者全員で手順等を確認できたことがよかった。 ・体験者の話が一番心に伝わるので、今回の映像はその点では有意義であった。 また、若い世代や子どもにぜひ見てもらいたいという意見があった。 					
課題・改善点等	<ul style="list-style-type: none"> ・全体的に参加者が少なく、特に若い人の参加が少ないので、参加者増に向けた工夫が必要である。 ・初期消火訓練では参加者が時間を持て余す場面があったので、次回実施する場合は、他のメニューなどを考えておくと時間を有効に使えてよい。 ・新型バーナーの操作は女性には難しいとの意見があった。 ・賞味期限間近の備蓄物品を配付する準備に時間がかかったので、時間短縮に向けた工夫が必要である。 					
その他 ※今後取り組みたいこと・意見等	次回は結ネットを活用した訓練を取り入れたらよいと思う。					

≪訓練の様子≫

画像を右クリックして、「図の変更…」から写真を挿入してください。

		
開設キットの内容確認	防災倉庫確認	災害情報情報の収集・伝達
危機管理課職員の説明を聞きながら、防災役員等参加者全員で開設キットの内容とその使用方法を確認した。	危機管理課職員の説明を聞きながら、防災倉庫の備蓄物資を確認した。新たに追加された物資や、何がどこに収められているか等を確認した。	危機管理課職員の説明を聞きながら、体育準備室に設置している災害情報システムの確認とその操作方法を学んだ。
		
簡易間仕切組立て訓練	避難者の受付訓練	災害用トイレの組立て訓練
危機管理課職員の説明を聞きながら、訓練参加者が実際に間仕切りを組み立て、その組立て方法を学んだ。	避難誘導部員が体育館外入口付近で避難者の受付訓練を行った。	危機管理課職員の説明を聞きながら、訓練参加者が実際に災害用トイレを組み立て、その組立て方法を学んだ。
		
映像視聴	初期消火訓練	発電機操作訓練
牛込消防署所有の「ノブさんからのメッセージ 手記に学ぶ関東大震災」の映像を見ながら、災害時における被災者同士の助け合い(共助)等について学んだ。	牛込消防署員の説明を聞きながら、訓練参加者が実際に消火器を操作し、その使用方法を学んだ。	危機管理課職員の説明を聞きながら、訓練参加者が実際に発電機を操作し、その操作方法を学んだ。

避難所防災訓練レポート

協議会名	東戸山小学校避難所運営管理協議会					
訓練日	令和 5年 11月 5日(日)	9時 00分～ 10時 10分				
運営する町会・自治会等	戸山三丁目南町会、戸山ハイツ東地区自治会、戸山ハイツ西地区自治会、戸山ハイツ南地区自治会、戸山ハイツ北地区自治会					
参加者数	町会・自治会等 一般参加者	315人	民間事業者	人	児童・生徒	人
	PTA	人	学校教職員	1人	防災関係機関等	9人
	その他	11人	区職員	14人	合計	350人
訓練概要	<p>東戸山小学校にて、午前9時より訓練を実施した。</p> <p>避難誘導部の案内で校舎内に集合した参加者が、①備蓄倉庫見学、②炊き出し訓練公開、③起震車体験、④仮設トイレ体験、⑤消火器でストラックアウト、⑥福祉避難所の紹介、⑦要援護者支援紹介の7つのブースのうち、自身が気になるブースに参加する形式で実施した。(別紙1参照)</p> <p>訓練終了後、参加記念品(炊き出し訓練で調理したアルファ化米、区からの備蓄物資)を配付し、順次解散とした。</p> <p>なお、訓練後の11月8日に、希望する3つの自治会に区からの備蓄物資(約2,000セット)を配付した。</p>					
特色・良かった点・成果等	<ul style="list-style-type: none"> 住民の高齢化率が高く、避難所への集合が難しい住民が多いため、3つの自治会では在宅避難を想定した安否確認訓練を実施した。戸山ハイツ南地区自治会では、訓練当日に自宅扉前に安否を示すマグネットを張り付けることで、自身及び家族の安否を示すという形式で実施した。在宅避難者として計619名が参加し、訓練参加総数がコロナ以前の令和元年度を上回る結果となった。 令和5年度から新しく福祉避難所の紹介ブースを出展し、新宿区地域福祉課と連携しつつ、参加者に新たな情報を提供できた。 コロナ禍以降初の大規模訓練実施となったが、受付や参加者記念品の準備等を滞りなく行うことができ、各町会・自治会の連携を再確認出来た。 					
課題・改善点等	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍を経て、メンバーが大幅に入れ替わった班があったことに加え、出張所側も令和元年度以前の訓練に参加した職員が残っていなかったことから、一部の班の訓練内容の調整が直前までかかってしまった。地域の高齢化が進む現状も踏まえ、地域と行政双方の知識の承継が必要である。 避難所運営管理協議会では「いつも通りの訓練ではなく、新しい訓練を実施すべきである。」等の意見があり、災害時に活かされる訓練を検討していく必要がある。 在宅避難者を含めた全体での参加者数はコロナ前を上回る結果となったが、避難所への参加者は令和元年度を100名以上下回る結果となった。そのため、避難所に集合し、避難所を運営するスタッフの確保が必要となる。また、併せて在宅避難への周知が必要となる。 					
その他※今後取り組みたいこと・意見等	<ul style="list-style-type: none"> 当初PTAの協力も受けて、東戸山小学校の児童も交えた形式での開催を検討していたが、準備期間等の兼ね合いから、今年度は実現に至らなかった。校長先生も実施に意欲的であることから、来年度以降の実施を目指したい。 					

「訓練の様子」

画像を右クリックして、「図の変更…」から写真を挿入してください。



開会式

各町会・自治会ごとに整列し、代表・副代表・関係機関の紹介、代表世話人の挨拶を行った。(新宿区登録手話連絡会の手話通訳あり)



訓練① 備蓄倉庫見学

備蓄倉庫の備蓄物資を紹介し、実際に備蓄倉庫内を見学した。



訓練② 炊き出し訓練公開

大釜でお湯を沸かし、アルファ化米の調理方法を公開した。調理したアルファ化米は参加賞として配付した。



訓練③ 起震車体験

新宿区防災センターから起震車を配車してもらい、震災時の揺れを体験した。



訓練④ 仮設トイレ体験

仮設トイレを設営し、仮設トイレを見学・体験した。



訓練⑤ 消火器でストラックアウト

牛込消防署早稲田出張所協力のもと、水消火器による消火器体験を行った。



訓練⑥ 福祉避難所の紹介

若松地区の福祉避難所のパネルと新宿区地域福祉課の資料をもとに福祉避難所の内容、場所等を説明した。また、災害時セルフプランの説明を行った。



訓練⑦ 要援護者支援の紹介

要援護者支援の紹介をするとともに、段ボールベット、ポップアップテントの展示を行った。また、参加者には物資を備蓄しているか等のアンケートを実施した。



在宅避難訓練

戸山ハイツ南地区自治会では安否確認のマグネットを全戸配付し、安否確認訓練を実施した。

避難所防災訓練レポート

協議会名	天神小・新宿中学校避難所運営管理協議会					
訓練日	令和5年11月11日(土)	8時30分～ 12時00分				
運営する町会・自治会等	東一町会、新宿東二町会、新宿六丁目一新会					
参加者数	町会・自治会等 一般参加者	13人	民間事業者	0人	児童・生徒	295人
	PTA	32人	学校教職員	30人	防災関係機関等	12人
	その他	6人	区職員	9人	合計	397人
訓練概要	<p>・協議会を運営する3町会と新宿中学校1年生、若草学級及び天神小学校が参加した共同訓練。</p> <p>・新宿中学校1年生対象の防災授業を実施。</p> <p>【訓練項目】①受付訓練②発電機操作訓練・バーナー訓練 ③炊出し訓練 ④仮設トイレ組立訓練 ⑤起震車体験 ⑥スタンドパイプ操作訓練・初期消火訓練 ⑦水消火器訓練</p> <p>・避難所運営管理協議会による反省会の実施。</p>					
特色・良かった点・成果等	<p>■中学生の災害時における地域貢献意識向上への取組みの一環として、平成26年度より、協議会と新宿中学校1年生が合同で避難所運営管理訓練を実施していた。(令和2年度よりコロナ禍のため中止し、協議会単独の訓練を実施)</p> <p>■訓練を実施するにあたり、小中学校・消防署・消防団と打ち合わせを行い、4年ぶりの合同訓練としては混乱もなく実施することができた。</p> <p>■天神小学校児童のグループを設け(1グループ)、訓練別に全学年が参加することができた(1・2年生:起震車体験、3・4年生:水消火器訓練、5・6年生:簡易トイレ組立訓練)。なお、一部訓練メニューを小学生向けに変更して実施した。(仮設トイレ組立訓練:中学生はベンチャー・イーストアイの組立、小学生がサニター組立)</p> <p>■土曜公開授業に合わせて実施したことで、PTAからも多くの訓練参加があった。また、訓練に参加したPTAからは実際に避難した際に、こういった役割を果たせばよいのか、経験者として避難所運営サポートに携わることが可能か等の積極的な意見が出た。</p>					
課題・改善点等	<p>■町会掲示板でもポスター掲示による周知を行ったものの、当日の気候もあり、町会参加者は少なかった。</p> <p>■避難所運営管理協議会委員の参加が少なく、訓練の進行管理は消防署、危機管理課職員に頼らざるを得ない状況であり、避難所運営管理協議会委員だけでは訓練の進行が難しい状況であった。</p> <p>■町会員で構成されている協議会委員の高齢化が進んでおり、訓練に参加すること自体が出来なくなっている。町会内で代わりの要員を見つけることにも大変苦労しているとのこと。協議会委員の負担軽減や町会以外の新たな担い手の確保を検討する必要がある。</p>					
その他※今後取り組みたいこと・意見等	<p>■中学生が訓練に参加し、仮設トイレの組立や、アルファ化米の炊出しといった基本的な訓練項目を学び、被災した際に担い手として活躍してもらうためにこうした訓練を毎年実施していくことは肝要である。</p> <p>■今年の天神小・新宿中学校避難所防災訓練は、中学生を対象とした訓練を中心として実施した。昨年度までは、避難所運営管理協議会委員による避難所開設キットを使った訓練を実施し、避難所開設作業の習熟を目指していたが、今後は両者の訓練を同時に行うことができるように内容を工夫していく必要がある。</p>					

＜訓練の様子＞

画像を右クリックして、「図の変更…」から写真を挿入してください。



【防災授業】

新宿中学校けやきホールに集合。町会長の紹介。次に、新宿消防署大久保出張所による「地震から命を守る10の問いかけ」をテーマにした防災授業を実施した。



【スタンドパイプ操作訓練】

消防団員より操作説明を受け、消火栓にスタンドパイプを設置した。重い消火栓の蓋を開け、スタンドパイプに消防ホースを接続した。



【初期消火訓練】

スタンドパイプに接続された消防ホースで、初期消火訓練を実施した。実際の放水による水圧を感じてもらいながら、火元に見立てた標的に向かって放水した。



【発電機操作訓練】

炊出し訓練のはじめに、発電機の操作訓練を行った。



【バーナー訓練】

危機管理課の指導の下、中学生がバーナー点火方法を学んだ。以前のものより扱いやすくなっており、昔のやり方を知っている町会員からは、便利になってよかったとの感想が寄せられた。



【炊出し訓練】

炊き上がったアルファ化米を参加者で協力して、小分け作業を行った。約200人分の量だったが、協力することで効率的に作業を進めることができた。



【仮設トイレ組立訓練】

それぞれの班において、1から仮設トイレを組み立てることで、組み立てに要する作業時間、順序など、各々が体験し、確認することができた。



【起震車体験訓練】

防災センター職員の説明後、数名ずつ起震車へ乗り込み、地震を体験した。中学1年生だけでなく、天神小学校1・2年生も参加した。



【水消火器訓練】

新宿消防署職員による消火器の使い方の説明後、火元に見立てた標的をめがけて消火器内の水を散布した。中学1年生だけでなく天神小学校3・4年生も参加した。

避難所防災訓練レポート

協議会名	西早稲田中学校避難所運営管理協議会					
訓練日	令和 5年 9月 16日 (土)	8時40分 ~ 11時40分				
運営する町会・自治会等	西早稲田二丁目ときわ町会、西早稲田二丁目協和町会、諏訪町会、西早稲田文化町会、都営西大久保四丁目7 ^ハ 自治会、区営大久保三丁目自治会防災部、トア早稲田マンション自治会、都営西大久保7 ^ハ 自治会、都営西大久保五号棟自治会、コミュニティパーク自治会、明和会					
参加者数	町会・自治会等 一般参加者	57人	民間事業者	0人	児童・生徒	140人
	PTA	64人	学校教職員	6人	防災関係機関等	22人
	その他	4人	区職員	12人	合計	305人
訓練概要	<p>各班（各町会と中学生の合同班）に分かれての訓練を実施。</p> <p>【体験訓練項目】</p> <p>①消火器訓練・備蓄倉庫見学、②応急救護訓練（AED、三角巾、担架）、③起震車体験、④仮設トイレ組立</p>					
特色・良かった点・成果等	<p>昨年度の訓練は町会員のみの実施であったが、今年度は西早稲田中学校の1年生と町会員の合同で訓練を実施した。</p> <p>消防署、消防団の協力のもと、消火器訓練、AEDや布を用いた応急救護訓練など実践的な訓練のほか、区防災センター起震車による体験型の内容も盛り込み、災害時の行動や防災への関心の向上に繋がるような訓練を実施した。</p> <p>また、区危機管理課の協力のもと行った仮設トイレの組立や備蓄倉庫の見学では、参加者からの積極的な質問があり、中学生や地元住民の防災意識の高さが表れていた。</p>					
課題・改善点等	<p>中学生と合同の訓練は令和元年以来の実施で、当時の状況を十分に知る関係者も不在のため、訓練当日の開会式前に、特別出張所と学校間の役割分担の認識に齟齬があることが判明し、その場で調整を行うなど、一部に慌ただしい状況があった。</p> <p>次回は特別出張所と学校間で、十分な摺り合わせを行うために、事前の打ち合わせを複数回設ける必要がある。</p>					
その他※今後取り組みたいこと・意見等	<p>中学生も参加する訓練のため、防災に関する知識が十分でなくても、気楽に参加することができる訓練とした。また、訓練を通して防災に興味を持ってもらえるように、実践的で体験型のわかりやすい内容とした。</p> <p>来年度も防災意識の向上と知識の習得に繋がるような訓練内容を、避難所運営管理協議会にて検討する。</p>					

≪訓練の様子≫



開会式

開会にあたり、代表世話人から挨拶を行った。また区戸塚特別出張所から訓練趣旨の説明を行った。



消火器訓練

消防署・消防団の指導のもと、空気消火器を用いて、発災時の初期消火訓練を実施した。



備蓄倉庫見学

区危機管理課から、避難所の備蓄倉庫にある備蓄物資の説明を行った。



応急救護訓練（AED）

消防署・消防団の指導のもと、応急救護訓練として、AEDの操作を実施した。



応急救護訓練（三角巾）

消防署・消防団の指導のもと、応急救護訓練として、三角巾での応急処置を実施した。



応急救護訓練（担架）

消防署・消防団の指導のもと、応急救護訓練として、毛布と竹竿を使用した担架での搬送を実施した。



起震車体験

区防災センターの起震車に乗り、地震体験を実施した。



仮設トイレ組立

区危機管理課の指導のもと、仮設トイレの組立・分解を実施した。



閉会式

閉会にあたり、学校長から挨拶を行った。また消防署から訓練の講評を行った。

避難所防災訓練レポート

協議会名	落合中学校・落合第四小学校・東京富士大学 避難所運営管理協議会					
訓練日	令和5年 9月3日(日)	8時30分～13時00分				
運営する町会・自治会等	下落合東町会、下落合町会知久会、下落合四丁目町会、高田馬場住宅コム、東京富士大学、新宿消防団第11分団					
参加者数	町会・自治会等 一般参加者	111人	民間事業者	0人	児童・生徒	61人
	PTA	11人	学校教職員	9人	防災関係機関等	19人
	その他	4人	区職員	15人	合計	230人
訓練概要	防災無線訓練、ろ水機見学、スタンドパイプ訓練、受水槽見学、炊き出し訓練、仮設トイレ（イーストアイ）組立、応急救護訓練（AED）間仕切り訓練、水消火器訓練、家具転倒防止資機材説明、三角巾訓練、避難所開設キット説明、備蓄倉庫見学、防災DVD放映を行った。					
特色・良かった点・成果等	<p>今回は令和元年度以来4年ぶりに、おとめ山公園を使用しての訓練実施となった。令和2年度以降は新型コロナウイルス感染症の影響により訓練の中止や、訓練規模を縮小して実施していたが、今年度はコロナ禍以前の規模で訓練を実施することができた。代表世話人を筆頭に、訓練の内容について活発な議論を行い、新たな訓練も実施することができた。</p> <p>また今年度は落合中学校の生徒にも学校行事の一環として参加していただいた。地域の方々と一緒になり、積極的に訓練に取り組んでいる様子だった。地域の一員として防災意識を高めてもらえたのではないかな。</p>					
課題・改善点等	時間の都合上、十分な訓練の時間が取れなかったという声があった。来年度は訓練数を絞るか、進行の順番を変えるなどして改善していきたい。					
その他 ※今後取り組みたいこと・意見等	<p>今年度はおとめ山公園を使用し、炊き出し用カマドの見学を行ったが、来年度は実際にカマドを使って炊き出しができないかと考えている。</p> <p>来年度以降も積極的に新しい訓練を取り入れ、参加者にとって有意義な訓練となるように取り組みたい。</p>					

≪訓練の様子≫

画像を右クリックして、「図の変更…」から写真を挿入してください。



炊き出し用カマド見学
炊き出し用カマドの使い方について説明



スタンドパイプ操法訓練
消火栓にスタンドパイプを設置し、概要説明及び放水訓練を実施



受水槽見学
避難者飲料水確保用の受水槽を見学



応急救護訓練（AED）
消防団員による救急救命、応急救護の指導



水消火器訓練
消火薬剤に代わり水を用いた消火器訓練



仮設トイレ組立
危機管理課職員指導の下、仮設トイレの概要説明、組立を行う



飲料水給水資材説明
受水槽に専用器具を繋ぎ、飲料水として活用するための訓練（見学）



家具転倒防止資機材説明
消防署員による、ギターを用いた家具転倒防止啓発



三角巾訓練
消防団員による、三角巾を用いて止血、骨折時の対応などを学ぶ訓練

避難所防災訓練レポート

協議会名	落合第二中学校避難所運営管理協議会					
訓練日	令和 5年 10月 28日 (土)	8時 00分～ 11時 00分				
運営する町会・自治会等	中落合三丁目辻町会、落合親和町会					
参加者数	町会・自治会等 一般参加者	49人	民間事業者	0人	児童・生徒	112人
	PTA	5人	学校教職員	6人	防災関係機関等	13人
	その他	2人	区職員	10人	合計	197人
訓練概要	<ul style="list-style-type: none"> ・委員集合 午前8時00分 避難難誘導部（辻町会）は避難誘導訓練開始 ・受付開始 午前8時30分 ・開会 午前8時45分 ・炊き出し実演 午前8時50分 ・訓練（班別） 午前9時00分～11時00分 ①仮設トイレ組立、②応急救護訓練（三角巾）、家具転倒防止器具説明、③避難部屋体験、④受水槽・災害用優先電話、⑤備蓄倉庫確認（校舎内）、⑥初期消火訓練、⑦備蓄倉庫確認（校庭）、水供給口確認（南門）、⑧炊出し（バーナー・発電機）体験 ・閉会 午前11時00分～11時15分 ※生徒参加はここまで ・片付け・反省会 午前11時15分～12時00分 					
特色・良かった点・成果等	<p>4年ぶりにコロナ禍以前の形態での実動訓練であり、戸惑うこともあったが、入念な打ち合わせや調整によりスムーズに実施することができた。</p> <p>また、落合第二中学校の1年生と合同で訓練を実施することで、中学生に災害が起きた際に対応などを考えてもらう良い機会となっている。加えて、町会員と中学生が同じ班で訓練を行うことで顔の見える地域コミュニティの醸成に寄与している。</p>					
課題・改善点等	<p>仮設トイレを設置するマンホールの場所がマニュアル記載と若干異なり分かりにくかった。</p> <p>訓練として避難誘導部（辻町会）が一時集合場所から避難所まで避難者を誘導したが、本当の災害時には難しいと思う。避難者が自身の判断で行動できるような周知啓発が必要だと感じた。</p>					
その他 ※今後取り組みたいこと・意見等	<p>起震車訓練をメニューに加え、地震の疑似体験をしてもらうことで、参加者の危機感を高める訓練としたい。</p>					

≪訓練の様子≫

画像を右クリックして、「図の変更…」から写真を挿入してください。

		
開会式	アルファ化米の説明	仮設トイレの組立て
		
家具転倒防止啓発ソング	受水槽確認	水消火器訓練
		
備蓄倉庫（校庭）見学	無線通信訓練	反省会

避難所防災訓練レポート

協議会名	西新宿中学校避難所運営管理協議会					
訓練日	令和 5年 11月 25日 (土)	8時 00分～ 11時 10分				
運営する町会・自治会等	西新宿六丁目町会・西新宿七丁目町会・西新宿八丁目町会・西新宿八丁目成子町会・北新宿一丁目南町会・百人町西町会					
参加者数	町会・自治会等 一般参加者	52 人	民間事業者	0 人	生徒	193 人
	PTA	10 人	学校教職員	5 人	防災関係機関等	3 人
	その他	0 人	区職員	12 人	合計	275 人
訓練概要	①参集訓練 ②日赤奉仕団による応急救護の講話（中学生全員） ③避難者受け入れ訓練 ④無線通信訓練 ⑤避難者数集計訓練 ⑥ローテーション訓練（災害用トイレ組立・見学、間仕切り・ワンタッチテント組立・見学、ペット防災、バーナー操作訓練、備蓄倉庫見学）					
特色・良かった点・成果等	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍のため4年間実施できていなかった西新宿中の生徒と町会との合同訓練を実施することができた。 ・例年西新宿中の生徒にも好評であった日赤奉仕団応急救護の講話を4年ぶりに実施した。 ・西新宿中の生徒はワンタッチテント・災害用トイレの組立てを体験するなど実践的な内容の訓練となった。 ・西新宿中の生徒が率先して椅子を運ぶなど会場設営に非常に協力的であった。 					
課題・改善点等	<ul style="list-style-type: none"> ・PTAにはそれぞれのグループに適宜入り一緒にまわっていただいたが、グループ分けを事前に決めるなどの調整が必要だった。 ・ローテーション訓練には各町会のグループに西新宿中の生徒に入ってもらい合同で実施する予定であったが、生徒の人数が多いため生徒と町会のグループで分かれてしまう状況があった。 					
その他 ※今後取り組みたいこと・意見等	<ul style="list-style-type: none"> ・来年度以降も西新宿中の生徒と町会との合同訓練を実施していきたい。その際は生徒と町会のグループが円滑に訓練に参加できるようにタイムスケジュールを工夫していきたい。 ・今年度は訓練当日に消防署合同での研修があった関係で新宿消防署職員・消防団が訓練欠席となったが、その分間仕切り・ワンタッチテント等の組立て訓練が充実できた。次年度は限られた時間の中、様々なメニューを充実していきたい。 					

《訓練の様子》

画像を右クリックして、「図の変更…」から写真を挿入してください。



日赤奉仕団による応急救護の講話



間仕切り・ワンタッチテント組立
見学



災害用トイレ組立・見学



ペット防災



バーナー操作訓練



備蓄倉庫見学

避難所防災訓練レポート

協議会名	西新宿小学校避難所運営管理協議会					
訓練日	令和 5年10月18日(水)	15時00分 ~ 17時00分				
運営する町会・自治会等	西新宿角三町会、西新宿四丁目町会、淀橋町会、西新宿小学校PTA、角筈地区民生児童委員会、防災サポーター					
参加者数	町会・自治会等 一般参加者	8人	民間事業者	0人	児童・生徒	0人
	PTA	1人	学校教職員	1人	防災関係機関等	0人
	その他	1人	区職員	12人	合計	23人
訓練概要	<p>今年度は避難所の立ち上げから運営に関わる協議会委員向けに、運営管理マニュアルの読み合わせや避難所開設キットの確認等を中心に訓練を行った。</p> <p>【訓練項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西新宿小学校避難所運営管理委員会会長および角筈特別出張所長より挨拶 ・西新宿小学校避難所運営管理マニュアルの読み合わせ ・避難所開設キットの確認 ・質疑応答 					
特色・良かった点・成果等	<ul style="list-style-type: none"> ・避難所運営管理マニュアルや避難所開設キットの内容を確認することにより、避難所開設時の基本的考え方や具体的手順等を共有することができた。 ・マニュアル記載の備蓄物資について内容の不足等を吟味することができた。 ・マニュアルと開設キット内資料の記載内容が異なっている点などを検証し、それぞれの改訂の際に整合を図る材料とすることができた。 					
課題・改善点等	<ul style="list-style-type: none"> ・避難所運営管理マニュアルと避難所開設キット内資料の記載の齟齬は、それぞれの改訂年度が異なるためであり、今後整合させていく必要がある。 ・避難所開設のタイミングや、避難所と一時避難場所や帰宅困難者受入場所等との区分について、さらに周知を重ね、意識の共有を図っていく必要がある。 					
その他 ※今後取り組みたいこと・意見等	<ul style="list-style-type: none"> ・今回明らかとなった課題を改善するとともに、各マニュアル類の内容の理解をさらに進め、訓練の充実につなげたい。 ・マニュアル類の充実を図る一方で実地の訓練内容も充実させ、地域の防災力を総合的に高めていきたい。 					

≪訓練の様子≫



【マニュアル等読み合わせ】
角筈地域センター8階レクリエーションホールに集合し、マニュアル読み合わせ・質疑応答等を行った。



【避難所開設キット確認】
避難所開設キットの内容物を一つひとつ確認し、避難所開設時の手順等を共有した。